

令和6年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市勝沼健康福祉センター				検証日	令和7年7月3日	
	所管課担当名	福祉総合支援課 重層的支援・地域福祉担当		課長名	土橋 美和		作成者名	古屋 陽祐
	指定管理者	名称	社会福祉法人 甲州市社会福祉協議会					
		代表者	会長 宮原 健一					
		所在地	山梨県甲州市塩山上於曾977番地5					
		指定期間	令和6年(2024年)4月～令和11年(2030年)3月					
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市勝沼町休息1867番地2					
		設置目的	市民の健康と福祉の増進を図るため、甲州市福祉センターを設置する。(甲州市福祉センター設置及び管理条例 第1条)					
		利用者	甲州市内及び市外の利用者	施設管理体制	6名	開館日時間等	10:00～20:00 (月曜日・祝日・年末年始・臨時休館を除く)	
	事業概要	サービス提供の内容						
指定管理業務		(1) 健康福祉センターの利用申請の受付及び利用許可等に関すること (2) 健康福祉センター使用料徴収事務に関すること (3) 施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること (4) その他点検等日常業務 (5) 施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (6) 備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く) (7) その他施設の管理に関すること						
	自主事業	(1) 営業時間の変更(10時～20時までの営業とした) (2) 地区送迎の充実 (3) ヨーガ教室 (4) 敬老週間に伴う施設無料開放 (5) 回数券の販売(10枚綴り1枚分無料利用券を付加、障害者割引として10枚綴り2枚分無料利用券を付加) (6) 医療や介護等の相談 (7) 市内福祉施設との連携 (8) 自動販売機の設置						

DO	管理運営コスト推移(千円)		令和6年度(指定期間1年目)	令和7年度(指定期間2年目)	令和8年度(指定期間3年目)	令和9年度(指定期間4年目)	令和10年度(指定期間5年目)
	予算	指定管理料	34,084				
		利用料金収入	14,189				
		その他収入	5,353				
		管理運営経費	53,626				
	決算	指定管理料	34,084				
		利用料金収入	12,696				
		その他収入	5,109				
		管理運営経費	50,084				
		収支	1,805				
	施設の稼動状況	令和6年度(指定期間1年目)	令和7年度(指定期間2年目)	令和8年度(指定期間3年目)	令和9年度(指定期間4年目)	令和10年度(指定期間5年目)	
指標	開館日数(日)	298					
	利用者数(人)	50,263					
	活動結果	・令和6年度利用者延べ人数50,263人(令和5年度利用者延べ人数42,879人 前年比117.2%) ・令和6年度利用料金収入12,696,100円(令和5年度利用料金収入10,817,100円 前年比117.4%) ・令和6年度地区送迎利用者延べ人数1,321人(令和5年度地区送迎利用者延べ人数500人 前年比264.2%)					

CHECK	評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1) 事業の運営	4	協定書のとおり、適切に管理運営が行われている。自主事業として全営業日の夜8時までの営業を継続実施しており、夜間営業の定着が図られている。地区送迎について、送迎ルートの柔軟な対応を行うなど利便性の向上に努めており、利用者は前年比821名の増加となっている。
	(2) 施設の維持管理	3	施設設備については、定期的に保守点検を実施し機能保持に努めると共に、必要な修繕を速やかに実施するなど適切な維持管理に努めている。レジオネラ属菌対策としては、法令を遵守し、レジオネラ属菌検査を行うと共に県のマニュアルに基づき、衛生的な施設維持に努め、レジオネラ属菌の防止に努めている。
	(3) 収入支出	4	利用料金収入は、利用者数の増加に伴い前年比1,879千円の増加と好調であった。物価高騰の影響や利用者数の増加に伴い昨年より支出は増加しているが、経費削減に努め計画的な予算執行を行った。
	(4) 総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)
	優良 良好 妥当 要改善 不適	良好	協定書のとおり適正に事業が実施されている。物価高騰による支出の増加はあったが、夜間営業や地区送迎などの自主事業の実施による利便性の向上により、利用者数は増加しており、結果として収支の増加に繋げることができている。

ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応	
	当面の課題	・夜間営業の実施、物価高騰による日用品費及び水道光熱費、燃料費の増額により引き続き支出の増加が見込まれる。 ・大規模改修工事に含まれなかった箇所等の施設内老朽化に伴う修繕の対応。
	課題解決への対応	・物価高騰による支出増加については、引き続き状況を注視し対応を検討していく。 ・施設内老朽化に伴う修繕については、優先順位を付け、計画的に対応を行っていく。
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)		
・仕様書及び協定書のとおり適切に運営されている。 ・自主事業である夜間営業や地区送迎について、利用者に寄り添った柔軟な対応により利用者が増加している点を評価したい。 ・物価高騰の影響がある中でも収支状況が良好である。引き続き利用者サービスの向上を図り、安定的な事業運営を行っていただきたい。		